



スポーツ振興くじ助成事業

# 平成 25 年度 東北フロッククラブネットワークアクション 2013

## 開催報告

日時： [1 日目] 平成 25 年 11 月 23 日（土・祝） 13：00～17：15  
[2 日目] 平成 25 年 11 月 24 日（日） 8：50～12：00

会場：東京エレクトロンホール宮城 601 大会議室（宮城県仙台市）

### 内容：

#### [1 日目]

##### ■開会行事

##### ■基調講演 「今後 10 年間の総合型クラブが目指すべき方向と取り組み」

講演者：福島大学 教授 黒須 充 氏

##### ■パネルディスカッション「逆転の発想！“無”から“有”を創り出すチカラ」

コーディネーター：福島大学 教授 黒須 充 氏

パネラー：

NPO法人まつぞのスポーツクラブ 理事長／岩手大学 教授 浅沼 道成 氏

公益財団法人福島県体育協会 クラブアドバイザー 板垣 晶行 氏

NPO法人多賀城市民スポーツクラブ 事務局長 伊藤 敏 氏

##### ■グループディスカッション

各クラブ紹介及び基調講演・パネルディスカッションの内容を深める

#### [2 日目]

##### ■事例発表「我がクラブの震災復興」

事例発表者：

岩手県／ NPO法人総合型りくぜんたかた 副理事長 菅野 修 氏

福島県／ かしま元気スポーツクラブ 事務局長 幾世橋 初男 氏

宮城県／ NPO法人アクアゆめクラブ 理事 木間 奈津子 氏

##### ■グループディスカッション「より良いクラブづくり」

##### ■まとめ・閉会行事

## 【概要】

クラブネットワークアクション2013東北ブロックでは、創設準備中のクラブや toto 助成事業を活用して自立を目指すクラブ、助成金を受けず活動しているクラブなど、様々な形態のクラブが参加することから、「アフターtoto」ではなく「より良いクラブづくり」をメインテーマにプログラムを企画した。

はじめに、「今後10年間の総合型クラブが目指すべき方向と取り組み」として基調講演をいただくことで、参加者に“これからの総合型クラブのあり方”について改めて考え、その後のプログラムを通じて「より良いクラブづくり」についての内容を深めてもらうことを目的とした。

また、東北ブロックの独自性として、東日本大震災の被災地域で活動している総合型クラブに事例発表をお願いし、被災地域の現状について全体で情報共有を図った。

## 【討議内容】

### 【1日目】

#### 【基調講演】

「今後10年間の総合型クラブが目指すべき方向と取り組み」と題して、福島大学の黒須充教授の講演を行った。持続可能な未来志向型クラブを目指すことを目的とし、“開放性”“事業性”“継続性”をキーワードに次の6つのあり方を提唱するとともに、クラブが地域課題を解決していくことが、スポーツと地域づくりの好循環を生んでいくとして締め括った。

- ・ 家族にやさしいスポーツクラブ
- ・ 社会的統合を目指すスポーツクラブ
- ・ 環境にやさしいスポーツクラブ
- ・ 教育のパートナーとしてのスポーツクラブ
- ・ 市民と行政との協働を目指すスポーツクラブ
- ・ 若者が参画するスポーツクラブ

#### 【パネルディスカッション】

はじめに浅沼氏、板垣氏、伊藤氏からそれぞれ「逆転の発想！“無”から“有”を創り出すチカラ」をテーマに話題提供をいただき、その後、黒須氏のコーディネートのもとパネルディスカッションを行った。これからの総合型クラブには“地域貢献”や“地域づくり”がキーワードになり、それらを進めていくにあたっては、持続可能な事業の『仕組みづくり』が必要であり、そこには「事業性と公共性」が重要なポイントである。また、総合型クラブにおいてスポーツだけではなく地域づくりという発想を持つことも新たな『仕組みづくり』であり、新しいものを創り出すチカラとなってくるとのことであった。

#### 【グループディスカッション】

2日目のグループディスカッションに繋げることを目的として、自己紹介と各クラブの状況について情報共有を行い、基調講演やパネルディスカッションについても理解を深めた。

## [2日目]

### 【事例発表】

菅野氏、幾世橋氏、木間氏より「我がクラブの震災復興」として、それぞれのクラブの事例紹介があり、「NPO法人総合型りくぜんたかた」のある陸前高田市には震災前には総合型クラブが無かったが震災後に創設するに至った経緯や、現在の活動が紹介された。

また、NPO法人アクアゆめクラブ、かしま元気スポーツクラブからは、それぞれ震災直後の状況、クラブ活動の休止から再開に至った経緯、現在の活動などの紹介があった。



### 【グループディスカッション】

「より良いクラブづくり」をテーマに意見交換を行い、他クラブの現状や事例を踏まえて、それぞれのクラブの課題等を共有しながらテーマについての認識をより一層深めた。

### 【まとめ】

全体を通して有意義な情報交換を行うことができた。年々、参加するクラブの形態が多様になり、一様のテーマを設定することが難しくなっている。参加者は運営の課題を共有・解決することを目的に参加していることから、開催の目的は達成されたと考える。特にグループディスカッションでは、盛んに話し合いが行われ、今後のクラブづくりに繋げることができた。基調講演、パネルディスカッションでも各クラブの今後の取り組みに非常に参考になったものと思われる。

このクラブネットワークアクションは、東北ブロックのクラブ関係者が一堂に会する場であるため、これを機会に東北各県クラブ間の交流がより盛んになっていくことを期待する。



東北ブロッククラブネットワークアクション2013

実行委員長 高橋 三郎